

令和2年度あじがさわ未来応援基金（ふるさと納税）活用状況報告

ふるさと納税を通じて全国の皆様から多大なる御寄附をいただきまして誠にありがとうございました。

頂戴いたしました寄附金は、あじがさわ未来応援基金に積み立て、当町の活力あるまちづくりに向けた貴重な財源として活用させていただきましたので、改めて感謝を申し上げますとともに、その活用状況について次のとおりご報告いたします。

◆ 寄附金活用事業一覧

使途区分	事業名	充当額（円）
産業の振興	有害鳥獣対策事業	690,000
	元気な浜づくり推進事業	2,000,000
	創業支援事業	2,000,000
	空き店舗対策事業	860,000
	町観光協会補助事業	13,250,000
	観光パンフレット作成事業	1,100,000
	長平青少年旅行村備品購入事業	950,000
	はまなす公園樹木剪定事業	2,500,000
教育文化の発展	ICT教育推進事業	39,680,000
	小中学校保健室エアコン設置事業	1,310,000
	小学校サッシ等修繕事業	1,800,000
	中学校北棟柱修繕事業	6,450,000
健康福祉の増進	親子プロジェクト事業	530,000
	子ども応援事業	1,200,000
	幼児体力づくり教室事業	660,000
	子ども医療費助成事業	11,860,000
	鱒ヶ沢こども園体育教室事業	580,000
	乳児すこやか支援事業（おむつ助成）	800,000
自治体におかせ	鱒ヶ沢まちづくり応援補助金事業	2,500,000
	あじバス巡回線実証運行事業	1,410,000
	町内誘導看板設置事業	920,000
合計	21事業	93,050,000

◆ 令和2年度における活用事業の一部をご紹介します

【産業の振興】

創業支援事業 2,000,000 円

町内での雇用機会の創出と経済活性化のため、町内で創業する事業者に対し設備投資など創業資金の2分の1を補助(上限100万円)する事業です。

令和2年度は2件の事業者へ補助金を交付し、新たな店舗には、町内のみならず町外からの訪問客もあることから、町の経済活性化に繋がっています。



創業店舗：居酒屋 児雷也、マルゴトジュース

【教育文化の発展】

ICT教育推進事業 39,680,000 円

新学習指導要領に基づきICTを活用した学力向上と情報活用能力、プログラミング的思考力の向上を図るため、小中学校におけるICT環境の整備に取り組みました。

小中学校ではタブレット端末を有効活用し、ICTを取り入れた授業が行われています。

- ・整備状況：学習用タブレット端末 535 台整備
小中学校 3 校の無線 LAN (Wi-fi) 環境整備
町教育 ICT システム整備
プロジェクターなどの周辺機器整備 ほか



【健康福祉の増進】

親子プロジェクト事業(中学生の生活習慣病健診・健康教育) 530,000 円

平成24年度から弘前大学の協力を受けながら、中学生の生活習慣病健診を実施しています。

自分の健康状態を知り、生活習慣病予防の意識付けとするほか、健診結果を親子面談で伝えることで、親子で生活習慣(食事、運動、生活リズムなど)を改善するきっかけとし令和元年度も当事業を継続実施しながら親世代の健康診断受診率の向上や家庭全体での健康意識の醸成へ繋がっています。



【自治体におまかせ】

鱒ヶ沢町まちづくり応援補助金事業（公募制補助金） 2,500,000 円

活力ある地域づくり推進の一環として、町民が主体的に取り組むまちづくり活動等に対し、1 事業につき 30 万円を上限に補助金を交付しました。

平成 26 年度に「住民の住民による住民のまちづくり」をコンセプトに創設した補助制度で、補助金は一般分野と社会教育分野に分類して町活性化につながる活動と認められる事業に対して町補助金審査委員会で審査し、交付決定されています。

- ・ 交付件数：一般分野 5 団体、社会教育分野 10 団体



鱒花会によるサプライズ花火

あじバス巡回線実証運行事業 1,410,000 円

公共施設や商業施設を中心とした市街地周辺の移動経路を確保するため、令和 3 年度より「あじバス市街地巡回線」の運行が開始されました。

これに先立ち、運行経路や利用状況を検証し、より利便性の高い運行を目的に行われたのが、市街地巡回線実証運行です。

実証運行は令和元年度と 2 年度に期間限定で実施され、同時に利用者アンケートを行いました。

令和 3 年度からの本格運行には、実証運行で得られたデータや利用者の意見などをできるだけ反映し、役立てています。また、令和 3 年 5 月に移転した町役場新庁舎へのアクセス便としても利用されています。

